

アヴァンギャルド でずるな め



Avant-gardes? yes we are!

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展

2025.10.18-2026.1.12 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
滋賀県近江八幡市永原町上16 [旧野間邸]

開館時間：11:00-17:00 休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始休暇 12月29日（月）-1月5日（月）

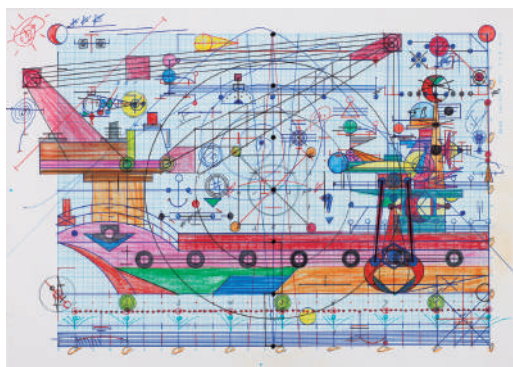
観覧料：一般700円（650円）、高大生650円（600円）※中学生以下無料、障害のある方と付添者1名無料 ※（ ）内は20名以上の団体料

主催：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA、社会福祉法人グロー（GLOW）～生きることが光になる～ 連携団体：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

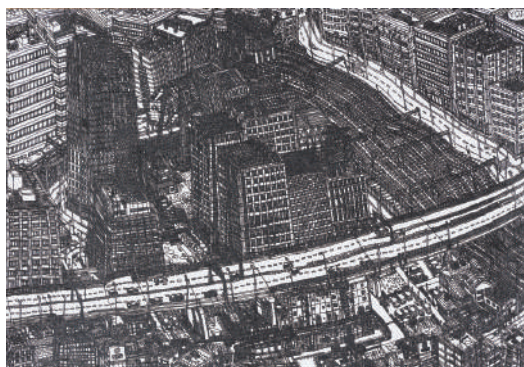
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会 協力：近江八幡観光物産協会、しみんふくし滋賀、マエダクリーニング仲屋店

本展は、「2025大阪・関西万博 文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト」と連携して実施するものです。 わいわいがやがや（2005-2007）/ 大川誠





無題（制作年不詳）／山崎健一



心でぞいた僕の街（2016）／辻勇二



無題（2006-2008）／藤岡祐機



無題（制作年不詳）／高丸誠



爬虫類とゆかいな仲間たち（2019）／岩瀬俊一



左：Makoot(NO.97)（2007-2011） 中：Makoot(NO.100)（2005-2014）
右：Makoot(NO.103)（2007-2015）／大川誠

全て撮影 木奥恵三

アヴァンギャルドですが、なにか

「アヴァンギャルド」は元来軍事用語で「先駆者」を意味し、サン＝シモンらによって芸術的革新を担う者として再定義されました。本展『アヴァンギャルドですが、なにか』では、日常や個人的な経験を出発点に、既存概念を問い直す作品を紹介しました。アートは固定されたものではなく、個々の解釈によって再定義される創造的な営みであり、作家の真摯な姿勢や情熱は、鑑賞者の心に強く響きます。さらに、障害も制約ではなく、独自の視点として創造性や社会的包摂を促す力と捉え直します。本展覧会は、情熱と違いへの開かれた姿勢こそが「前衛」の精神を生み出すことを伝えてくれるはずです。

本展キュレーター 黒澤浩美（株式会社ヘラルボニー CAO）

■ 出展者：

井口直人、石野敬祐、伊藤 裕、犬塚 弘、岩瀬俊一、大川 誠、勝部翔太、古久保憲満、小林一穂、坂元郁代、高丸 誠、辻 勇二、鶴岡一義、戸舎清志、西岡弘治、野間口桂介、野本竜士、半澤真人、藤岡祐機、戸次公明、戸来貴規、前田泰宏、松本倫子、山崎健一、渡邊義紘（あいうえお順）

■ 関連イベント

NO-MA ウェブサイトにのお知らせします。



イベント情報

障害などを理由にNO-MAに行くか迷っている方へ

「さわって楽しめるものはある?」「これが苦手なんだけど大丈夫?」「静かにしないでいい?」など、あなたやあなたの周りの方が気になっていることや、必要なサポートを教えてください。合理的配慮の観点から、できる限りの情報提供やスタッフによる対応を行います。なお、本展では、見えにくい方や聞こえにくい方、字を読むのが苦手な方に向けての「情報保障」や、さわって楽しむ展示物を準備しています。

詳しくはQRコードからご確認ください。



■ アクセス

● 電車・バス：

JR 琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス [長命寺線 (6番のりば)]
→ 乗車 約10分 → バス停 [八幡堀八幡山ロープウェイ口] 下車
→ 徒歩 約8分 → NO-MA

● 車：

名神高速道路 竜王IC → 約25分 → NO-MA
※駐車場に限りがありますので満車の際は有料駐車場などをご利用ください。

● 駅から徒歩：

近江八幡駅 → 約30分 → NO-MA



近江八幡駅からの
ルート案内動画



お問い合わせ：

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16 (旧野間邸)

Tel / Fax: 0748-36-5018

Email: no-ma@lake.ocn.ne.jp

URL: <https://no-ma.jp>



NO-MA
ホームページ